

救急講演会と 応急手当の体験



あなたの大切な人が倒れたら…

あなたは落ち着いて
手当てができますか？

もし、あなたの家族など大切な人が、目の前で倒れたらどうしますか。心臓の動きが急に止まった患者さんの心電図を見ると、心室細動が多く、電気ショックにより心臓の動きを復活できる状態であることが分かっています。心臓が止まった後は、1分経つごとに7～10%ずつ生存率が低くなっていきます。

日時

平成31年

2月16日 土

14:00～16:00

場所

ホテルグランヴェール岐山

(2階カルチャーホール)

岐阜市柳ヶ瀬通6-14 TEL:058-263-7111

講演 14:05～14:45

「救急医療における生と死の砦」

講師

岐阜大学大学院医学系研究科
救急・災害医学分野教授

小倉 真治 先生

実習 14:50～15:50

「心肺蘇生法の実習」

講師

岐阜大学大学院医学系研究科
救急・災害医学分野教授

小倉 真治 先生

朝日大学病院歯科麻酔科

名知 ひかる 先生

入場無料

申込不要



誰でも簡単に応急手当が行えます。



1

呼吸の確認は、
胸とお腹が
動いているか
観察する。

2

呼吸がなければ、
ただちに胸骨圧迫を
開始する。

3

人工呼吸ができる
場合は、胸骨圧迫と
人工呼吸の比率は
30:2で行う。

4

AEDによる
電気ショック後は
ただちに胸骨圧迫
を行う。